



杉並区議会だより

【発行】杉並区議会 【編集】区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/> 【携帯サイト】<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>

No. 221
 平成26(2014)年
 5月1日発行



読書の森公園とアンネのバラ (荻窪3-39-16)

平成26年 第1回定例会

振興基本条例などを可決 平成26年度予算、杉並区産業

第1回定例会は、2月13日に開会し3月18日までの34日間の会期で開催されました。

初日は、区長から「平成26年度予算の編成方針とその概要」の説明がありました。これを受け、翌14日にかけて会派の代表4名が質問を行いました。14日は、代表質問の後、区長から提案された議案1件が上程され、提案説明を受けた後、総務財政委員会に付託しました。その後、18日にかけて、17名の議員が区政一般について質問を行いました。

19日は、総務財政委員会委員長から14日に付託された議案の審査経過が報告され、原案どおり可決しました。その後、区長から提案された条例案・26年度予算案等議案計28件が上程され、提案説明を受けた後、9件を関係する常任委員会に付託するとともに予算案等については、予算特別委員会を設置して審査することを決定し、関連議案を含め16件を付託しました。委員会付託を省略した人権擁護委員候補者の推薦3件は原案どおり可決しました。その後、専決処分した一般会計補正予算(第6号)の報告1件を承認し、損害賠償額決定の専決処分の報告1件を聴取しました。

本会議終了後に予算特別委員会を開会し、吉田あい委員長、北明範副委員長を互選しました。

20日、28日は、各常任・特別委員会が開かれ、条例案などの議案審査等を行いました。

26年度予算案等の議案審査は、3月3日からの予算特別委員会、合わせて報告された区立施設再編整備計画案と一緒に進められ、17日には各会派から意見の発表がありました。

最終日18日の本会議では、各常任委員会委員長等から議案等の審査経過が報告され、25件の区長提出議案は、原案どおり可決しました。その後、委員会提出議案1件と、議員提出議案1件が上程され、いずれも提案説明の後、原案どおり可決し、第1回定例会を閉会しました(審議の結果は8面をご覧ください)。

「杉並区議会だより」の見出しを新しくしました

「区議会だより」に親しみを持ってもらいたい。もっと多くの方に手にとってもらいたい。」との思いから、女子美術大学に協力を依頼して、「杉並区議会だより」の見出しをリニューアルしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。お気づきの点がありましたら、区議会事務局へお寄せください。

議案番号	議案名	開会日	委員会
317	全員協議会	1月17日	なし
316	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
315	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
314	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
313	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
312	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
311	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
310	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
309	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
308	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
307	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
306	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
305	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
304	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
303	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
302	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
301	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
300	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
299	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
298	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
297	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
296	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
295	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
294	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
293	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
292	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
291	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
290	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
289	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
288	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
287	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
286	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
285	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
284	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
283	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
282	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
281	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
280	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
279	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
278	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
277	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
276	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
275	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
274	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
273	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
272	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
271	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
270	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
269	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
268	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
267	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
266	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
265	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
264	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
263	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
262	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
261	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
260	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
259	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
258	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
257	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
256	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
255	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
254	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
253	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
252	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
251	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
250	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
249	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
248	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
247	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
246	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
245	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
244	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
243	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
242	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
241	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
240	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
239	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
238	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
237	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
236	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
235	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
234	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
233	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
232	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
231	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
230	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
229	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
228	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
227	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
226	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
225	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
224	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
223	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
222	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
221	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
220	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
219	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
218	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
217	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
216	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
215	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
214	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
213	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
212	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
211	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
210	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
209	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
208	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
207	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
206	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
205	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
204	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
203	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
202	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
201	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
200	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
199	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
198	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
197	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
196	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
195	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
194	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
193	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
192	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
191	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
190	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
189	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
188	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
187	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
186	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
185	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
184	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
183	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
182	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
181	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
180	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
179	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
178	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
177	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
176	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
175	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
174	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
173	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
172	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
171	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
170	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
169	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
168	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
167	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
166	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
165	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
164	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
163	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
162	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
161	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
160	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
159	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
158	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
157	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
156	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
155	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
154	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
153	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
152	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
151	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
150	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
149	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
148	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
147	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
146	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
145	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
144	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
143	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
142	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
141	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
140	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
139	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
138	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
137	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
136	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
135	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
134	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
133	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
132	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
131	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
130	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
129	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
128	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
127	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
126	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
125	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
124	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
123	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
122	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
121	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
120	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
119	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
118	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
117	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
116	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
115	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
114	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
113	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
112	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
111	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
110	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
109	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
108	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
107	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
106	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
105	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
104	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
103	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
102	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
101	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
100	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
99	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
98	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
97	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
96	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
95	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
94	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
93	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
92	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
91	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
90	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
89	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
88	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
87	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
86	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
85	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
84	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
83	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
82	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
81	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
80	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
79	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
78	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
77	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
76	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
75	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
74	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
73	議会運営委員会理事會	1月17日	なし
72	議会運営委員会理事會		

代表質問

2月13日・14日に会派の代表4名が予算編成方針について質問しました。その要旨をお知らせします。



富本 卓

区長は6月の区長選挙に再度挑まれるのか、決意を問う

杉並区議会自由民主党

問 6月執行予定の区長選挙。引き続き区長として区政をけん引していく考えはあるのか。

答 直面する課題の解決には、いまだ道半ばとの思いが強い。もう一度区政のかじ取りをさせたい。

問 区長は、今回の都知事選挙の結果をどのように捉え、新都知事に何を期待するのか。

答 首都直下地震の備え等の施策をしっかりと進められるリーダーが求められた。積極的に区との連携を強めていくことを期待。

問 区立施設再編整備計画と使用料等の見直しでは、区民との対話の中で何を感じ、どう活かしていくのか。また、集会所施設は、多世代が利用できるコミュニティ施設を基本概念としながら、区民の文化活動やその成果発表に適した場を地域バランスも勘案して整備するという視点も加えて検討してほしい。

答 引き続き区民の意見を聴き、理解を得ながら進める。コミュニティ施設の再編は、ご指摘の視点も重要。検討していく。

問 区は再度の使用料の見直しを行ったが、その後も私たちのところには、様々な声が寄せられた。区は、こうした声を受け、さらなる見直し策を講じたのか。

答 区民の意見を大切に、取り組んでいく。

問 産業振興は、商店街の方々と幅広く向き合い、きめ細かく説明し、理解を得て、一つ一つ

地道に積み上げていくしかない。と考えるが、区の見解は。

答 ご指摘のとおり、地道に成果を積み上げていきたい。

問 保育園の待機児童対策は、国や都との連携を強化し、子育て施策や女性政策の充実も含めた「総合的な視点での子育て推進策」が必要ではないか。

答 国や都との連携を密にしな



島田敏光

防災・減災、本格的な高齢社会対策で区民に安心と希望を！

杉並区議会公明党

ながら、施策推進に全力を尽くす。

問 南伊豆健康学園跡地を活用した特養整備に関して、南伊豆町はどのような考えを持っているのか。また、進捗状況は。

答 南伊豆町も前向きである。互いの行政課題解決に向け、検討を進めており、現在は町や県と津波対策等の検討を進めている。

問 区教育委員会と区内都立高校との間で、包括的な協定が締結されること。区民の体育施設の増設を望む声は大きい。都立高校の体育施設の夜間利用を協定締結の中で進めてほしい。

答 都立高校と協議していく。

問 2020年東京オリンピックク・パラリンピックでは、区独自に、スポーツ施設の環境整備やボランティアの育成等について戦略的・積極的に取り組むべきと考える。区の見解は。

答 杉並ならではの取組を計画的・戦略的に進めていく。

問 今年度は景気回復と消費税増税の綱引きになる年。国や都と連携した就労対策や経済的な対策を行う必要があると考える。景気回復を確かなものにするため、国や都と連携・協力し、地域経済の活性化に取り組む。

問 保育に関するこの間の取組は評価するが、後手に回った感はないか。高齢社会対策では、将来想起される課題に先手を打つ必要があると考える。

答 地域包括ケアシステムの構築を区内全域で広げるとともに、特養等の介護施設整備を進める。

問 区立施設の再編整備は、まちづくりや地域の活性化とも関連するものだ。駅周辺地区の都市再生とどう関わっていくのか。

答 まず中央線を中心に、まちに、にぎわいと活力を生み出すことを目指す取組を進める。

問 昨年12月に杉並区地域防災計画の見直しが図られた。見直しの主な背景は。予算案のどの事業に反映され、防災・減災の充実・強化が図られるのか。

答 24年4月に都が公表した首都直下地震等による被害想定、同年11月に修正された東京都地域防災計画を踏まえ見直した。

問 救護所、福祉支援所の整備費等を計上し、計画を進めていく。

答 都は昨年12月に局地的集中豪雨対策の「豪雨対策下水道緊急プラン」を策定した。その際、区は善福寺・荻窪地区でアンケートを行ったと聞く。それで明らかになったこの地区の課題は。水害は、道路や下水管からの流入が原因と判明。結果を伝え、都はプランに反映した。

問 「路面下空洞調査」の結果と対応。今後の取組は。調査を踏まえ策定する「道路維持白書」の道路維持管理の考え方は。

答 78カ所の空洞が見つかった。緊急性のある箇所は速やかに補修。白書を策定し、道路の延命化と維持管理費の平準化を図る。

問 「地域包括ケアシステム」構築に向け、成田・高井戸・方南をモデル地域とした検討の成果と今後の取組は。

答 ケア24の後方支援の重要性を認識し、地域包括ケアを推進。

問 特養整備は、区立施設再編整備計画において示された高齢化率から考えて、総合計画の目標で対応できるのか。当面、どのような特養整備を進めるのか。

答 人口推計等を踏まえ適宜改定する。当面は、施設再編整備で生み出された施設・用地を活用する等、多様な手法を進める。

問 中学校「フレンドシップスクール事業」を、交流自治体で実施する意義は。

答 これまで培ってきた友好関係を活かし、中学生が、より豊かで充実した体験ができる。



河津利恵子

社会変化を的確にとらえ区民福祉の向上と区民参画の区政を

民主・市民クラブ

た保育士の処遇改善を図るための経費計上等、支援策を講じる。

問 ①在宅重症心身障害児(者) ②区立施設再編整備計画の検討に当たり、地域の方々の議論の場を改めて設けるべきでは。設置助成の対象と内容は。

答 計画の具体化は、地域の皆さんの意見を聞きながら進める。

問 あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等国有地の財産交換で設けられる施設は、地域を支えるサービスがワンストップでできる施設にすべき。現時点の構想は。

答 幅広い世代の生活と就労を支援する施設とし、特別養護老人ホーム等の施設整備と合わせ、区内全域の地域包括ケアのバックアップ機能の拠点とする。

問 阿佐谷南・高円寺南地区に導入する不燃化特区制度の特徴は。この制度の導入で、具体的にどのようなまちを目指すのか。

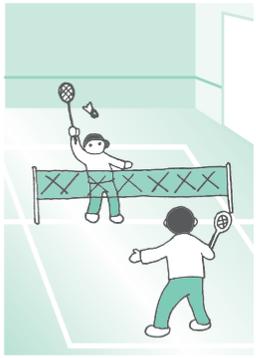
答 老朽建物の除去費用などの一部助成等建て替え支援策や、道路整備等を行う。

問 高齢者のための多様な住まいの整備が求められている。民間が主導すべきだが、区はどのような支援を図るのか。

答 改定作業中の住宅マスタープランで、身体状況、経済状況等に応じた多様な住まいを整備するとしている。区営住宅や高齢者住宅の運営を引き続き行い、サービス付き高齢者向け住宅の整備を建設助成により進める。

問 待機児童解消の実現に向け、施設整備を図る一方で、保育施設で働く方の報酬や労働条件等の処遇面についての区の取組は。

答 国や都の補助制度を活用し、



を積もって検討してほしい。

問 引き続き区民の意見を聴き、理解を得ながら進める。コミュニティ施設の再編は、ご指摘の視点も重要。検討していく。

問 区は再度の使用料の見直しを行ったが、その後も私たちのところには、様々な声が寄せられた。区は、こうした声を受け、さらなる見直し策を講じたのか。

答 区民の意見を大切に、取り組んでいく。

問 産業振興は、商店街の方々と幅広く向き合い、きめ細かく説明し、理解を得て、一つ一つ

地道に積み上げていくしかない。と考えるが、区の見解は。

答 ご指摘のとおり、地道に成果を積み上げていきたい。

問 保育園の待機児童対策は、国や都との連携を強化し、子育て施策や女性政策の充実も含めた「総合的な視点での子育て推進策」が必要ではないか。

答 国や都との連携を密にしな

ながら、施策推進に全力を尽くす。

問 南伊豆健康学園跡地を活用した特養整備に関して、南伊豆町はどのような考えを持っているのか。また、進捗状況は。

答 南伊豆町も前向きである。互いの行政課題解決に向け、検討を進めており、現在は町や県と津波対策等の検討を進めている。

問 区教育委員会と区内都立高校との間で、包括的な協定が締結されること。区民の体育施設の増設を望む声は大きい。都立高校の体育施設の夜間利用を協定締結の中で進めてほしい。

答 都立高校と協議していく。

問 2020年東京オリンピックク・パラリンピックでは、区独自に、スポーツ施設の環境整備やボランティアの育成等について戦略的・積極的に取り組むべきと考える。区の見解は。

答 杉並ならではの取組を計画的・戦略的に進めていく。

《会派名》

自民/杉並区議会自由民主党 公明/杉並区議会公明党 民社/民主・社民クラブ 共産/日本共産党杉並区議団 無区/無所属区民派 同志/杉並同志会 自ウ/自民と区政クラブ 生ネ/区議会生活者ネットワーク みん/みんなの党杉並 無/無所属 共生/共に生きる杉並 美杉/美しい杉並 緑党/緑の党

区民サービス低下をまねく施設再編と 使用料見直しは撤回を

日本共産党杉並区議団



くすやま美紀

消費増税はくらしも営業もどん底に突き落とすことは明らか。4月からの増税と、2015年10月実施予定の10%への増税は中止するよう国に求めよ。



あんさんぶる狹達は、かけがえない文化やコミュニティを形成してきた。区長の認識はどうか。利用者や住民の合意が取れないまま、国との財産交換協議は進めないよう求める。

区立施設の登録団体半額制の廃止について「未利用者との負担の公平性」を理由にあげているが、区民同士を対立させるもので、自治体の本旨に背くものではないか。

要支援者の訪問介護・通所介護の保険給付は不十分、介護保険制度の根幹を揺るがす改悪はやめるよう国に迫るべき。

区民健康保険料の負担増抑制のため、国に国庫負担を増やし、都に対しても財政支援を増やすよう求めよ。

特別区長会として全国市長会を通じて要望している。

児童館施設は大規模な廃止・転用先があり、その後については検討事項が多く、質の低下は明らか。撤回を求める。

児童館という限られた規模の施設にとらわれていたのでは今後の事業展開が立ち行かなくなる状況にある現実を直視し、再編を着実に進めていきたい。

政府等でのような議論が重ねられていくのか注視したい。

区長の予算編成方針（抜粋）

区政運営の基本的姿勢

平成26年度予算は、私が編成する4回目の通年予算です。あらためて、区政運営に臨む基本的な姿勢について申し述べます。

平成26年度予算の概要

（一般会計） 予算規模は、1611億5000万円、前年度比52億9700万円、3.4%の増です。

次に、財政の健全性を確保し、持続可能な財政運営に努めました。区民福祉のさらなる向上に向けて、基金と区債をバランス良く活用しました。

予算編成の基本的な考え方

区民ニーズの高い保育及び学童の待機児童対策や在宅介護の充実など喫緊の課題については、重点的に、かつ優先して取り組めるよう予算措置をいたしました。

終わりに

オリンピック・パラリンピックの東京開催は平成32年。基本構想が目標とする10年後の節目の年は、平成33年です。基本構想が描く将来の杉並像を実現する取組と、オリンピック・パラリンピックの成功をめざす取組は軌を一にします。

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。2月14日・17日・18日に17名が質問しました。その要旨をお知らせします。

質問

質

一般

一

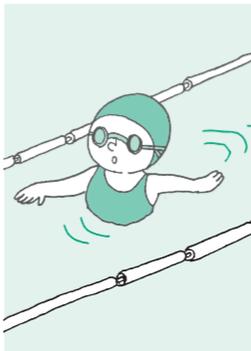
2020年に向け杉並区のスポーツ施策とまちづくりを問う



大熊昌巳 (自民)

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を前に、区は総合型地域スポーツクラブの必要性を区民に周知し、率先してスポーツクラブを立ち上げることが望ましいと考えるが、

2020年を見据えたスポーツ環境の充実が重要事項と認識。区民の幅広い層がスポーツ・運動に親しめる施策に取り組むとともに総合型地域スポーツクラブの検討も進めていく。



座・高円寺が、地域活性化に貢献していることが地元にも広く伝わっていない。

阿波おどりははじめとする、「高円寺四大まつり」では拠点としての役割を担っている。今後はまつり関係者だけでなく、地域の皆さんと顔の見える関係を通じた信頼醸成に努める。

座・高円寺において、「文化芸術活動」と「旧高円寺会館のような集会所」の両立には限界があるのでは。

「地域の集会所等に利用しにくい」との声は承知している。こうした課題認識の下、芸術性と親しみやすさのバランスの取れた事業に今後取り組む。

座・高円寺が、「より地域に開かれた施設」となるには、今般の施設再編整備と一体となって進むべきだ。

今後、地域毎にコミュニティ施設の再編整備を進める。地域の意見を聞きながら検討する。

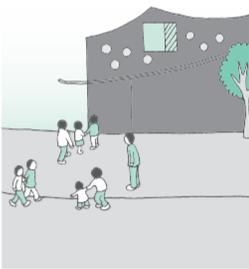
「座・高円寺」は私達の区立施設。気軽に利用できる施設に！



大和田伸 (自民)

「座・高円寺は私たちが気軽に入館しても良い施設なの？」という地元の声がある。

現在、誰もが気軽に文化芸術に触れることができる幅広い事業企画に取り組んでいる。



来年度早々に区長任期を迎えるので改選後の区政に財源残せ



藤本なおや (自民)

保育待機児童解消に向けて、認可保育所の大幅拡充の実現を



山田耕平 (共産)

3位↓5位↓25位転落 杉並区の経営革新度 (行政革新度)



堀部やすし (無)

杉四・杉八小、高円寺中の統合に反対・疑問 97%中止求める



鈴木信男 (共産)

地域と区職員の力で育まれた児童館事業の継承と拡充を



新城せつこ (無区)

区立施設再編、学童クラブ、あんさんぶる菰窪の財産交換



山本あけみ (民社)

田中区長の政治とお金の問題、区の補助団体等から政治資金



木梨もりよし (共産)

問 26年度は4月からわずか3カ月後に区長の任期を迎える。そこで区長選挙を通じて示される区民の民意を即座に区政へ反映させる為に年度当初の予算は最低限必要な経費のみを計上する「骨格的予算」とすべきでは

問 各家庭に今年4月の保育園入園選考結果が通知。入園選考結果により各家庭の状況は一変する。この間、保護者の方に聞き取りを実施。認可保育所に入園できなかった家庭の深刻な事例を紹介。ある方は臨月から出産後子どもを抱えて、数十軒の保育園回り。どの園もキャンセル待ちが百人近くと絶望的。入園不承諾通知を見て、涙が止まらなかったとの保護者も。

問 杉並区が総合25位となった日経全国市区経営革新度(旧・行政革新度)調査を確認すると近年の結果は3位↓5位↓25位である。田中区長就任後、順位は下がる一方だ。

問 高円寺地域における新しい学校づくり計画のパブリックコメント結果では、「計画のメリットが理解できず、杉四・杉八小学校、高円寺中学校の統合は賛成できない」との反対意見等が多数出された。反対74%、疑問23%、計97%が否定的意見だ。

問 (仮称)子どもセンターや中高生の新たな居場所等で、コミュニティを育む行事は継続できるのか。区は地域説明会等で児童館の事業を継承・充実していくとしているが、見解を。

問 学童クラブの需要把握と的確に対応するための手立ては。

問 区長は、区長になる前、行政の権限を持つ首長は政治資金パーティーを行ってはいけないと主張していたが、区長になつてから開催した理由は。

答 基礎自治体には区民ニーズの的確に対応していく責務があり、事業の停滞は多大な影響を与えかねず通年予算として編成

答 区はこの間、認可保育所増設を核とした保育施設定員増を図ってきた。しかし、来年度も昨年と同規模の約1800人の子どもが認可保育所に入れない。依然として厳しい状況。児童は3歳児にもなれば、活発に体を動かす。園庭などを有する認可保育所等の増設が必要では。

答 区が行った回答に単純な錯誤によると思われる誤りがあった。職員の意識改革を図り、組織としてしっかり対応する。

答 これまでの経験や知識を活かし、事業の継承・充実を行う。使用料の団体利用減額制度廃止には、根強い反対がある。減額制度は、何らかの形で残すべきと思うが、区の見解は。

答 受益者負担の適正化の観点から先送りせず取り組んだ。

答 小学校の広いフィールドの活用で需要に応えられる。行き帰りの安全・安心を確保できる。学童クラブ利用児童と他の小学生との交流機会の確保等で健全育成が期待できると考える。

答 4・5月で3施設を開設。荻窪団地内の整備の推進、荻窪税務署等跡地を活用した整備等のほか、国・都と連携し公有地の活用等多様な手法を用いる。

問 次年度予算で新たに所得制限なく小学校教材費や修学旅行費用の一部を補助するが、なぜ今やらなくてはならないのか。

問 区は追加中継予算をゼロ査定とした理由は何か。

問 総合的な判断から予算化を見送ったが、今後検討していく。

問 新しい学校づくり推進基本方針(案)に学校の適正規模を確保する。望ましい規模は小中学校各学年33級であり、小学校9校・中学校11校ある。

問 整備目標は人口推計等を踏まえ、総合計画ローリング時に改定。多様な手法を用いて整備

問 学童クラブに関する条例制定の、国の検討状況は。その動向等を踏まえた区の取組状況と今後のスケジュールは。

問 日本には54基の原発があるが、活断層の多い日本に最終処分場を作るのは不可能だ。これ以上将来にツケを回してはならない。今すぐ原発ゼロを区として発信してはどうか。

問 当該事業は次世代育成支援の拡充策の一つとして実施するもので、年度前半で修学旅行を実施する学校もあり、当初予算で計上した。

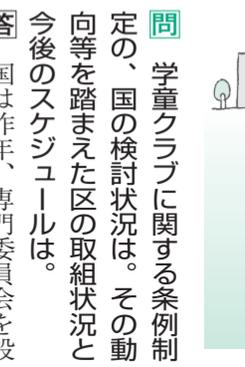
答 緊急性を区長に理解してほしい。年度内に補正予算を組み、緊急対応をするべきでは。

答 申込者数の増加もあり待機児童ゼロの達成は困難な状況。誠に遺憾。今後の保育施設整備は認可保育所を核として進めていく考え。今後の待機児童数の確定を踏まえた上で、すみやかに必要な措置を講じる。

答 集団教育本来の機能が、一層発揮できる環境のためである。

問 放射第5号線の計画について、区の都市計画審議会での玉川上水の緑の保全をうたった条件付き賛成や、地元意見尊重を要請した都への要望書提出の経緯からも、区はその順守を常に検証すべき。区の見解と姿勢は。

答 町会等へ繰り返し説明を行ってきた。今後も丁寧な説明を重ね理解を得られるよう努める。えはない。



問 民間による全国の市区を対象とした「経営革新度調査」の結果、当区の総合ランキングは前回の全国5位から25位へ転落した。この要因について伺う。

問 杉並保健所が他にあまり例のない規制を振りかざし、視覚障害者の就労のチャンスが妨害するかのような要求を行っていることが判明した。

問 学校の適正規模とは自治体の行政効率性から導き出された数字であり、子どもの実態、教育的に検討されたものではないと論証されている。見解は。

問 放射第5号線の計画について、区の都市計画審議会での玉川上水の緑の保全をうたった条件付き賛成や、地元意見尊重を要請した都への要望書提出の経緯からも、区はその順守を常に検証すべき。区の見解と姿勢は。

問 学童クラブの需要把握と的確に対応するための手立ては。

問 区長は、区長になる前、行政の権限を持つ首長は政治資金パーティーを行ってはいけないと主張していたが、区長になつてから開催した理由は。

問 日本には54基の原発があるが、活断層の多い日本に最終処分場を作るのは不可能だ。これ以上将来にツケを回してはならない。今すぐ原発ゼロを区として発信してはどうか。

答 この調査はアンケート方式で行われ、後日提出した回答を点検した結果、複数項目で誤った回答をしていた。二度とこのような事がないよう組織としてしっかり対応していきたい。



答 国家免許を持った視覚障害者が従事する企業内マッサージ室の開設にあたり、さらに新たな洗面所の設置を要求するのは、設置業者等と癒着でもあるのか。過剰な規制で改善が必要だ。



答 今後も地元の意見を聞き、樹木の保全を都に求める。

答 町会等へ繰り返し説明を行ってきた。今後も丁寧な説明を重ね理解を得られるよう努める。えはない。

答 直ちに区として発信する考

震災危険度周知、あんさんぶる荻窪交換、生活保護水際作戦



奥山たえこ (緑党)

問 地域危険度について、区では広報が不足している。建物所有者に個別に災害の危険性を周知できないか。

答 阿佐谷南・高円寺南地域は火災危険度が低下したとはいえ、震災時に安全が確保された状況にあるとは考えていない。不燃化特区事業で行う戸別訪問をはじめ、あらゆる機会をとらえ十分周知して安全なまちの早期実現に努めていく。



施設再編計画は住民と対話型で、区営墓地設置の展望を持って



市橋綾子 (生ネ)

問 昨年9月に発表された施設再編整備計画素案(中間のまとめ)に、実際の利用者、関係者の声を聞き取るべきだったのでは。

答 当初、計画策定は昨年3月を予定していたが、より丁寧に区民意見を把握するべきと考え、区民アンケートや区民意見交換会を実施し、9月に公表した。



待機児童対策・領土教育について



田中ゆうたろう (美杉)

問 昨春、認可保育園申込が殺到し、区の待機児童問題が顕在化。これを受け、区は待機児童対策緊急推進プランを策定。待機児童ゼロは目指すべき目標ではなく、必ず実現する目標として明確に位置付けることを強く宣言したが、今般、待機児童ゼロ達成は遺憾ながら困難な状況にあるとのこと。要因は何か。

答 申込者数が昨年より289名増え、なかでも0・1歳児の出生数が例年より多く、保護者が育児休業期間中である割合が高い実態にあること、緊急推進プランに基づく取組により潜在的な需要の掘り起こしが進んだ面もあるが、第一義的には、大都市に共通してみられる女性の社会進出の本格化が大きな要因になっていると受け止めている。



ロコモ予防で健康寿命を延ばす取組みについて



山本ひろこ (公明)

問 ロコモ(運動器症候群)予防のためにロコチェック、ロコモ度テストをあらゆる機会に活用し、早急に普及啓発に取り組みしてほしいが区の認識と取組は。

答 健やかな高齢期を過ごすためにも予防が重要。保健所での専門医による講演会、すぎなみ地域大学の公開講座等機会を捉え、正しい予防方法の普及啓発を実施している。



認知症「気づき・つながり・支え合う」仕組みづくりを!!



北明範 (公明)

問 岡山大学病院を視察した。認知症の早期発見につながる誰もが簡単に使える器機を開発する取組が行われている。同病院教授より、杉並区に試作品を貸与するとの提案をいただいた。区として前向きに導入を考えていただき、推進してほしい。

答 大変興味深い取組と考える。本人や家族が、認知症の疑いに気づいたときに相談できる窓口の拡大と対応能力の充実についての区の現状は、今後どのように推進していくのか。

答 区役所内に認知症コーディネーターを配置し、専門医療機関への迅速なつながりを強化。浴風会と協定を結び、協力連携を密にした取組を開始。今後は、医師会の力も借り、早期対応と地域包括ケアの実現を進める。



区長の歴史認識や所得制限なしのバラマキについて問う



佐々木浩 (同志)

問 田中区長は都議時代、我が国の侵略という言葉を用いて当時の石原知事の歴史認識を質問したが、今回の私の全く同じ質問を部長に代読させないで、自ら歴史認識を答弁すべきでは。

答 「村山談話を中心として議論されている」との答弁は区長と十分意志確認したものである。健康に寄与③飼育動物を通じた挨拶など社会との接点が生れる。又、子どもがTVやゲーム機器に囲まれる現在、動物とのふれあいは、情操教育・生命尊重・環境教育の観点からも有効では。

答 動物の飼育は、子どもに思いやりの心を養い、命の尊さを気づかせたり、高齢者の心を支え、生活のリズムを整え、また活発な地域交流の場にも繋がる。



高齢者や子どもが安心して、動物と共生できる社会に!



大槻城一 (公明)

問 超少子高齢社会が急激に進化する中、ルールやマナーの順守の上、高齢者や子どもと動物との共生をより良く発展させることは、今後の杉並区に重要なことでは。

答 「村山談話を中心として議論されている」との答弁は区長と十分意志確認したものである。健康に寄与③飼育動物を通じた挨拶など社会との接点が生れる。又、子どもがTVやゲーム機器に囲まれる現在、動物とのふれあいは、情操教育・生命尊重・環境教育の観点からも有効では。

答 動物の飼育は、子どもに思いやりの心を養い、命の尊さを気づかせたり、高齢者の心を支え、生活のリズムを整え、また活発な地域交流の場にも繋がる。



問 あんさんぶる荻窪は環境保護の活動や消費者運動など、区民の様々な活動や交流の場として利用されている。このような区民の活動は、金銭だけで測れない。考慮すべき。

答 現在あんさんぶる荻窪内にある施設は移転し、機能の継承する庁舎においても区民の活動スペースの確保を検討する。

問 生活保護申請時、扶養親族の支援が必須であるかのような誤解を招く運用はしていないか。

答 扶養義務者による支援を申請の要件とはしていない。必要な書類が揃わない場合でも、保護が必要な場合には申請を受け付けている。

問 現在、施設再編「素案」が「計画案」になったが、これから決める部分が多くある。住民と対話型で計画を進めるよう求めるが、具体的な計画はあるか。

答 庁内の検討組織体制、地域の声をどのような形で聞いて進めるのか等、今後関係所管の職員が地域に入って検討していく。

問 独身者の増加、少子化による墓守の不在などで、家墓ではなく樹木葬など合同墓を求める人が増えている認識はあるか。

答 納骨に関する相談は年々数件ある。葬儀・納骨の価値観が多様化していること、都立霊園の倍率が高く簡単に入れないこととは認識しているが、現時点で区営墓地の設置は考えていない。

問 本年1月、中学校学習指導要領のうち社会編の一部が改訂された。改訂は具体的にどのよう区立中学校の領土・領海に関する教育に反映されるのか。

答 領土に関する教育や、自然災害における関係機関の役割等に関する内容が一部変更になっている。学習指導要領に教員が理解を深めるよう指導する。

問 ピーク・ボーン・マス(最大骨量)を成長期に上げていくための区の認識と取組は。

答 骨粗しょう症予防には骨量が一番多くなる成長期に最大骨量を増やすことが重要と認識。母親学級の健康教育、子育て世代を対象とした健康講座の開催等、幼児期からの生活習慣の重要性について周知していく。

問 大震災時、自力で避難できない方のために、耐震シェルター・耐震ベッド購入費の一部助成が予算計上された。助成対象建築物・対象者・製品は。

答 昭和56年5月以前の耐震基準前の建物、65歳以上の方及び災害時要援護者、都が信頼できると公表している製品が対象。

問 児童生徒への教材費や修学旅行費の一部を所得制限なしで補助するのは、かつて選挙目当てのバラマキと批判された民主党的手法そのものでないか。

答 区が独自に義務教育の無償の範囲を拡げるものである。

問 自治体間連携は重要だが、今回南伊豆町の15mの津波危険区域に特養ホーム等関係施設を多額の税金でつくるのは本当に区民のためになるのか。

答 健康福祉センターを特養と共同整備できないかとの南伊豆町からの提案を検討しており、それは両者にメリットはある。

問 区立小5年生に配布している動物との共生冊子「動物通信」を区内私立小にも拡大しては。

答 私立小への配布も検討する。

問 飼主の突然の病気で飼育困難な動物の保護対策の検討を。

答 対応が必要であると認識。都の議論を注視しつつ今後、都や関係団体との連携を模索する。

高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくり！



横田政直 (みん)

問 救急病院と連携した自殺未遂者対策について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

答 関係機関と連携し、自殺未遂者を含む「自殺ハイリスク者」への対策を強化する。

問 うつ病や精神疾患患者の家族会（北風と太陽、杉並家族会等）の活動について、他の患者家族等に積極的に周知すべき。

答 参加希望者に情報提供を行うなど周知に努めているが、様々な地域精神保健活動の中で家族会の活動を紹介していく。



問 あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等用地との財産交換提案について、関係者に事前にならなかの打診がなかったことも含め、改めて急展開した理由を伺う。

答 昨年11月に国と方向性について合意したことを受け、施設再編整備計画へ反映し、その後の説明となった。

問 特別養護老人ホームの整備を進めていく上で、財政負担をできるだけ少なくしていくためにどのような工夫をする考えか。

答 区立施設の再編整備で生み出された区有地や国・都との連携による未利用地の有効活用と建設助成を基本に整備を進める。

予算特別委員会の最終日（3月17日）に、各会派の代表から意見の発表がありました。その要旨をお知らせします。
 なお、無所属区民派、杉並同志会、自民と区政クラブ、区議会生活者ネットワーク、みんなの党杉並、無所属、共に生きる杉並、美しい杉並、緑の党からも意見の発表がありました。
 賛否については、8面の議案等の概要と審議結果をご覧ください。

意見発表

基本構想の実現に向け、国や都と連携を深めていく様求める



脇坂たつや

わが会派は、予算特別委員会に臨むにあたり、①基本構想実現に向けた内容か②区民の喫緊の課題を的確にみ取り、それに

促し、地域でお互いに連携を深めていく様を後押しし、区がそれを補完する内容か④現役世代のみならず将来世代に確実にパ

クトンをつなぐことで、課題を先送りしない内容か⑤国や都との

連携や支援を受けながら、区として持続可能で健全な財政運営

ができていくのか⑥不断の行財政改革に真摯に取り組む、効率的

かつ筋肉質な区政運営を行うこととで、区民から全幅の信頼を得

ることができている内容か、という

視点で議案を精査し、質疑を重ね、審議を行ってきた。予算案に

関する考え方、個別の施策等も含め、会派の意見・要望を述べる。

施設再編整備計画に関しては、

施設が再編され、縮小してしま

うといったネガティブなものとし

て捉えるのではなく、夢のある

ポジティブなものとして捉える

よう求める。

「次世代支援のさらなる拡充」

について、特に、ICT教育は、

超えて、また障害の有無を気に



杉並区議会自由民主党



大槻城一

なり、その施設を中心として、

地域が一体となってまちづくり

につなげていくことができれば

素晴らしいことだと考える。区

民と一緒にあって、新しい時代

のモデルを示していくよう求め

る。

使用料等の見直しに関して、

わが会派から要望した使用料の

激変緩和措置の実施と施設の使

用時間区分の変更を受け入れた

ことを評価する。料金変更は段

階を踏んで行うが、都度、利用

者に主旨を説明するよう求める。

次に、予算編成で示された3

つの視点別に、申し述べる。

「安全でにぎわいのあるまち

づくり」に関して、防災対策は、

区の使命は区民福祉の向上！

杉並区議会公明党

年齢者世帯や老老介護世帯が急増

中。早急な対策が必要である。

②関東大震災からあと9年で1

00年を迎える。首都直下型地

震への対策として、区内の道路

や橋梁など、公共インフラや施

設の保守点検が急務である。

第一に、基本的姿勢として、

「区の使命は区民の福祉向上に

ある」との視点から、予算編成

をしていることである。

「福祉に限界はない」という姿

勢が我が会派の立場。区民の声

を聞き、現場を調査し、財政的

視点を加味しながら、知恵を絞

り、課題を克服し、更なる区民

福祉の向上を図ることこそ、私

たちの使命と考える。

第二に、未来を見据え、10年

後の区政運営を常に意識しながら、



区の基本構想を実現する予

算案であること。

第三に、超少子高齢社会に向

けて、効率的な行財政運営への

本格的なスタートの予算案であ

ること。今後の人口動態の変化

による歳入減が見通される中、

すべての事務事業効率化の徹底

を表明。老朽化や区民需要への

対応から、区立施設の再編整備

計画を掲げている。また、財政

計画については区民の前に明らか

にしていくことが重要。今後、区

民サービスを継続発展させてい

くためにも、課題をオープンに

していくことは大切と考える。

区を取り巻く状況としては、

①直近の報告では、少子化の目

安となる特殊出生率が区内で最

も低い状況。また一人暮らし高

区議会情報公開の運用状況

杉並区議会情報公開条例第22条に基づき、平成25年1月～12月の運用状況をお知らせします。

情報公開請求件数	7件		
決定状況	件数	決定日	請求内容
公開	2件	平成25年8月1日	渋谷区議会事務局から杉並区議会事務局への調査事項と回答
		平成25年12月12日	各委員会室の最後列の椅子を傍聴席と定めた規程及び議事録
一部公開	4件	平成25年5月31日	政務調査費領収書等証拠書類
		平成25年7月22日	杉並区議会が22区議会へ行った調査で、各区の附属機関数や所属人数、報酬額などの記載文書及び区議会議員又は会派が、区議会事務局を通じて行った22区議会への調査で最新の文書
		平成25年10月25日	政務調査費領収書等証拠書類
		平成25年10月25日	議会開催お知らせポスター及びそれに係る費用、作成過程、掲示場所
非公開（不存在）	1件	平成25年12月25日	杉並区議の自宅から区役所に来る場合と区役所から自宅に帰る場合の交通費に関する条例又は規則

区民福祉向上を優先に3つの視点に基づいた予算編成に賛成

民主・市民クラブ



山下かずあき

26年度杉並区一般会計予算、各特別会計予算並びに関連諸議案について、主な賛成理由と意見・要望を付して述べる。

「安全でにぎわいのあるまちづくり」に関して、首都直下地震の被害想定を踏まえた防災対策のさらなる取り組みにおいて、狭あい道路の解消や不燃化特区制度の活用は重要な施策である。また、我が会派から要望していた耐震シェルター等の購入助成の予算計上は、高齢者や障害のある方々にとって大変勇気付けられるものだ。

商業農業をはじめとするまちの賑わいや食の展開は地域の活性化や安心安全の面からも大変重要な施策である。チャレンジ商店街支援プログラムや仮称・地産地消推進検討会等の施策には大いに期待する。また労働者の処遇改善として設計労務単価の現場事務所への掲示等をはじめする事は評価するが、条例の制定が労働意欲を高めるばかりでなく、公共工事および公共サービスの質向上に資するものであり公契約条例の制定を検討する事を要望する。

「福祉の向上で安心を実感」に関して、保育分野での待機児童対策は今やなくてはならない事業である。女性の社会進出に伴い、保育施策の重要性は増している。区長の強力なリーダーシップのもと昨年3月に策定した「待機児童対策緊急推進プラ

ン」により着実に保育施設の確保を図り約1000名の新たな保育定員を確保できたことは高く評価する。保育需要がさらに増加する中、都の認証保育スポット保育や区保育室設置等の様々な手法を効率よく活用した課題解決を望む。

保育対応型児童発達支援事業所の設置、地域包括支援センターの機能強化、他自治体との連携による区域外特養の設置等にも大いに期待する。

「次世代支援のさらなる拡充」に関して、次代を担う若者への施策は今後の杉並区の将来を決定づける意味で大変重要な施策である。我が会派から提言したスポーツを核とした若者支援に柔軟に対応した事を評価する。また、次世代育成基金を活用した交流やスポーツ分野への施策、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックを契機にアスリートの育成や関連のスポーツ文化の醸成と充実を要望する。さらに教育環境の向上に大いに期待する。



この予算編成は、基本構想実現に向けアクセルを踏み込む、「未来へ駆ける予算」であり、この実現こそが将来に夢と希望の持てる社会を築く責任ある行動計画であると期待する。

区民サービス削減計画を改め、暮らしを守る区政に転換を

日本共産党杉並区議団



山田耕平

杉並区議会の陳情審査率の「低さ」は重大問題。現在の審査率は21%。任期がスタートした2011年時点の審査率37%を大幅に下回っている。住民の「請願権を阻害」しており直ちに改善することを求める。

安倍政権の暴走政治に拍車。様々な分野で「国民の利益に背く」悪政を推進。4月から消費税増税によるさらなる負担増。区は住民生活の実態把握が弱く、予算編成全体の弱点に。自治体の役割は住民を痛めつける悪政に立ち向かうこと。しかし、田中区政府は「悪政からの防波堤としての機能」を果たしていない。国に対して意見を挙げず、多くの問題で国に付き従う姿勢。住民の立場に身を置き自治体の役割を果たすべき。

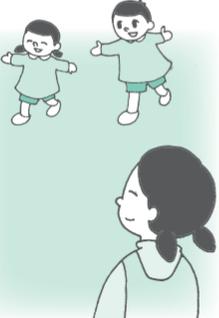
区立施設再編整備計画と施設使用料等の見直しは多くの区民に衝撃。住民不在のもとで計画は進められており、両計画には道理が無い。住民が主体となり関わる区立施設は、住民と共に施設の今後を考えることが本来の筋道。いったん、計画を凍結し、それぞれの施設の今後は、住民参画のもとで検証をやり直すべき。計画は区長のトップダウンで進められており「あんなさぶる萩窪と萩窪税務署の財産交換」は典型。議会もマスコミ発表により事態を知ると異質な進め方であり、許されない。パブリックコメントには計画

の見直しを求める様々な意見が寄せられたが、計画の基本的な方向性は変わらず。パブリックコメントの意義が失われるような行政の在り方は重大な問題。施設使用料等の見直しは、区内で育まれてきた地域コミュニティの破壊に繋がる。所得の格差により、施設使用にも多大な影響を及ぼし、住民の社会参加を制限する重大な問題となる。

区は「新たなニーズ」という文言を多用。しかし、保育待機児童も特養ホーム待機者もかねてよりの問題。元来から区民の根強いニーズであった課題に対応してこなかったのは区行政の失策。失政のツケを「区民のニーズが変化した」などとし、問題をすり替えることは問題。

区は将来人口推計を使い分け実態と異なる過度の人口減少と少子高齢化を煽り、区税収入の減少を盾に区民サービス削減を打ち出している。これは区民を欺むものであり許されない。

杉並区は極めて健全な財政状況。財政指標を優先するあまり区民サービスを削減することは許されない。財政のダムによる50億円の不要な溜め込みを直ちに改めるべき。財政運営優先の区行政を改め、区民福祉向上に全力で取り組むよう求める。



本会議、予算・決算特別委員会の録画映像をご覧ください

区議会ホームページで、本会議、予算・決算特別委員会の録画映像を配信しています。会議終了から、おおむね24時間後に速報版として、おおむね1週間後には内容や質問者ごとに詳細版としてご覧になれます。ホームページトップ画面の左下「本会議録画中継」「委員会録画中継」をクリックしてください。

議会のしおり

- 区議会の役割
- 区議会の仕事
- 会議のあらまし
- 常任・特別委員会の仕事
- 区議会事務局

区議会議員紹介

あなたと区議会

- 傍聴
- 情報公開
- 請願・陳情
- 直接請求

区議会例規集

会議日程・議長活動

議長交際費

区議会のうごき

- 代表・一般質問
- 議案一覧
- 委員会報告
- 意見書・決議等
- 請願・陳情の結果一覧
- 行政視察の結果

本会議ライブ中継

本会議録画中継

委員会録画中継

会議録の検索

杉並区議会だより

区議会年報

リンク集

文字を大きくするには

杉並区議会からのお知らせ

○2月19日、3月3日～7日の予算特別委員会

○2月13日・14日・17日～19日の第1回定例会

○第1回定例会の議案一覧を更新しました(2)

区議会トップ

議会のしおり

- 区議会の役割
- 区議会の仕事
- 会議のあらまし
- 常任・特別委員会の仕事
- 区議会事務局

区議会議員紹介

あなたと区議会

- 傍聴
- 情報公開
- 請願・陳情
- 直接請求

区議会例規集

会議日程・議長活動

議長交際費

区議会のうごき

- 代表・一般質問
- 議案一覧
- 委員会報告
- 意見書・決議等
- 請願・陳情の結果一覧
- 行政視察の結果

本会議ライブ中継

本会議録画中継

委員会録画中継

会議録の検索

杉並区議会だより

区議会年報

杉並区議会

本会議録画中継

杉並区議会本会議の映像を録画放映でご覧になれます。

- 録画放映(速報版) 会議の終了から概ね24時間後(土曜日・日曜日・祝日を除く)にご覧いただけます。
- たいま速報版はございません。
- 録画放映 会議の終了から概ね一週間後にご覧いただけます。

日付をクリックすると、各日の詳細ページから映像をご覧になれます。

平成26年 第1回定例会

- 2月13日 (会期の決定、特別委員会委員長報告、予算編成方針説明、代表質問)
- 2月14日 (代表質問、議案上程、委員会付託、一般質問)
- 2月17日 (一般質問) □ 2月18日 (一般質問)
- 2月19日 (議案上程、委員会付託、議決)

平成25年 第4回定例会

- 11月19日 (会期決定、特別委員会委員長報告、一般質問)
- 11月20日 (一般質問) □ 11月21日 (一般質問)
- 11月22日 (一般質問、議案上程、委員会付託)
- 11月27日 (議案上程、委員会付託)
- 12月6日 (議案上程、議決)

クリック

議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成26年3月18日議決（※は2月19日）

件名	概要	自民	公明	民社	共産	無区	同志	自夕	生ネ	みん	無	共生	美杉	緑党	結果	
杉並区産業振興基本条例	産業振興に関する基本的な事項の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区外部評価委員会条例	外部評価委員会の設置等	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決
杉並区プロポーザル選定委員会条例	プロポーザル選定委員会の設置等	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区行政財産使用料条例等の一部を改正する条例	使用料の改定等	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	可決
杉並区表彰条例	表彰に関し必要な事項の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区住民基本台帳カードの利用に関する条例	住民基本台帳カードの利用に関し必要な事項の設定等	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
杉並区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保険料率の改定等	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立こども発達センター条例及び杉並区立身体障害者通所施設条例の一部を改正する条例	こども発達センターの事業の改正等	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例の一部を改正する条例	ゆうゆう下高井戸館の位置の変更等	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	地方青少年問題協議会法の一部改正に伴う青少年問題協議会の構成の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
杉並区営住宅条例の一部を改正する条例	都営住宅の移管による区営住宅一箇所の設置に伴うその名称及び位置の設定並びに駐車場の使用者の資格の特例の創設等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区「特別区道」道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	道路法の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について	東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
土地の取得について ※	(仮称)荻外荘公園用地として、荻窪二丁目43番の土地6,156.09㎡を取得	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
財産の処分について	杉並区民営化宿泊施設「湯の里 杉菜」(神奈川県足柄下郡湯河原町宮上字入谷279番1)の土地・建物一式を売却	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
負担付き譲与の受領について	都営住宅の区移管に伴い、都営富士見ヶ丘アパートの土地(久我山二丁目861番1ほか5筆)・建物・工作物を、区有財産として取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区一般会計補正予算(第7号)	緊急を要する事業や平成25年度の清算的要素を含む、61億2,084万1千円の補正のほか、繰越明許費・債務負担行為・地方債の補正	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	国民健康保険料等の歳入、保険給付費等の歳出の実績に伴い、11億2,647万5千円の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区介護保険事業会計補正予算(第1号)	繰越金等の歳入、国庫支出金等返還金等の歳出の実績に伴い、5億4,442万3千円の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	繰越金等の歳入、保健事業等の歳出の実績に伴い、2億4,732万4千円の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計補正予算(第1号)	繰越金の歳入実績に伴い、501万5千円の減額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度杉並区一般会計予算	予算総額1,611億5,000万円	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	可決
平成26年度杉並区国民健康保険事業会計予算	予算総額534億7,359万7千円	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
平成26年度杉並区介護保険事業会計予算	予算総額378億6,163万4千円	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
平成26年度杉並区後期高齢者医療事業会計予算	予算総額125億1,722万3千円	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	可決
平成26年度杉並区中小企業勤労者福祉事業会計予算	予算総額1億5,415万6千円	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、白石光征(しろいし みつゆき)氏を推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、三浦範子(みうら のりこ)氏を推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、大川康徳(おおかわ やすのり)氏を推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した平成25年度杉並区一般会計補正予算(第6号)の報告及び承認について ※	2月9日の東京都知事選挙の実施に要する経費1億7,003万円を追加した補正予算の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	5件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
委員会・議員提出議案																
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書	下記をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
予算特別委員会における木梨もりよし議員の発言に対する警告決議	下記をご覧ください。	○ 欠2	○	○	×	×	×	×	×	×	×	除斥	○	×	○	可決

議員別の表決結果は、区議会ホームページの「議案一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》

自民/杉並区議会自由民主党(11人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民社/民主・社民クラブ(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、無区/無所属区民派(2人)、同志/杉並同志会(2人)、自夕/自民と区政クラブ(2人)、生ネ/区議会生活者ネットワーク(2人)、みん/みんなの党杉並(1人)、無/無所属(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)、緑党/緑の党(1人)

全員協議会を開催しました
1月17日に全員協議会を開催し、「杉並区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン(案)」について区から説明を受けました。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書を提出
区議会は、ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と、身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に応じた障害者認定制度にすることを求める意見書を3月18日付で、国会及び政府に対し提出しました。
予算特別委員会における木梨もりよし議員の発言に対する警告決議
区議会は、予算特別委員会における木梨もりよし議員の発言の中に、委員会の審議に関係ない、個人に対する不適切な言葉が発せられたことに対し、厳重に注意する決議を3月18日付で行いました。
※意見書・決議の全文は、区議会ホームページの「意見書・決議等」でご覧になれます。

陳情の審査結果
【採択】
◇ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出に関する陳情(26陳情第4号)
【みなし不採択】
◇区立施設使用料の見直しの撤回を求めることに関する陳情(26陳情第3号)
◇集会施設および体育施設使用料の見直しの撤回を求めることに関する陳情(26陳情第5号)